

## 総評

数学がたいへん難しかったようです。他の教科は標準的な難易度でしたが、数学が全体の平均点を押し下げました。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実戦的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。スムーズに受験勉強を始めるために、1・2年内容を完璧にしておきましょう。

## 国語

標準的な出題でした。

㉒は、話し合いの場面や表などの情報をもとに、記事の文章を考え、表現する力が問われます。問三は、話し合いや記事の一部を手がかりに、文中に書かれていない内容を推察する問題だったため、取り組みにくかったようです。㉓は問一の文法の問題以外はよくできています。「活用」について、今まで習った文法項目とあわせて復習しておきましょう。㉔と㉕は全体に難しかったようです。㉖問三(2)は、本文にある表現を使って「たまって」とすると、正反対の状況になってしまうことに気づけたかがポイントです。古文に限らず、文中から読み取れる内容を、別の言葉を使って表現する問題が近年の入試で出題されています。演習を重ねて、慣れておきましょう。

## 数学

①の後半と②の得点率が予想を下回り、⑤に時間がかかったためか、平均点は低くなりました。

①は、問2～問6での取りこぼしが目立ちました。どれも基本問題なので必ず復習しましょう。問8では、「範囲」「相対度数」など語句の意味があいまいな人がいるようです。2年で学習した「四分位数」などと合わせ、よく復習しましょう。②の問1、「2けたの自然数」を表す式は必修問題です。ウ以降は解答の文を読みながらひとつずつ変形させてみましょう。

③は、まずは問1、問2をしっかりおさえましょう。問題の意味さえわかれば難しくありません。

⑤の問2はぜひ復習してください。解き方は一通りではありませんし、グラフをかくことができれば、グラフから式が求められます。苦手意識を持たないことです。

## 社会

標準的な出題でした。

地理分野では、④問6の資料問題の得点率が低くなりました。それぞれの都道府県の農業や工業の特徴は語句だけではなく、教科書や資料集にのっているグラフや表の内容もあわせて覚えましょう。

歴史分野では、⑤問7の年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。歴史分野では、人名やできごとなどの語句を覚えるだけではなく、できごとの前後関係やおおまかな流れをつかむことも大切です。

記述問題では、地理分野の「混合農業」、歴史分野の「応仁の乱」に関する問題で、ともに得点率が低くなりました。どちらも、まずは内容を正確に覚えましょう。その上で、漢字の誤りがないか、適切な表現ができていのかどうかを確認するようにしましょう。

## 理科

標準的な難易度の出題でした。

①はどれも基本的な内容です。間違えたところがあれば、しっかりと復習しておきましょう。②は、問2～4で、得点率が低めになりました。マグマの冷え固まり方と、火成岩の特徴について確認してください。③は、全体に得点率が低くなりました。どれも凸レンズに関する基本的な出題です。まちがえたところをしっかりと復習しておきましょう。④の問3では、発生した気体を間違えている答案が多く見られました。代表的な気体の発生方法と性質を確認してください。⑤の問3は、会話文を読み取って、実験でどのような操作を行うべきか考える必要がありました。⑦は、問2が難しかったようです。動脈・静脈、動脈血・静脈血など混同しやすい語句について、もう一度確認しておきましょう。

## 英語

やや難しめの出題となりました。④では、得点率が10%以下になった問いがいくつか見られました。今後は入試に向けて、文法の基礎固めに早めに取り組むと同時に、入試問題の形式や出題に慣れるために、類似問題の演習を意識的に行っていきましょう。中学の内容に新しく加わる文法事項や、来年の入試で出題割合が増えるリスニング問題なども、取りこぼしのないようにしっかり対策していきましょう。

④問3は、There was ～をhadに書きかえられるかがポイントでした。よく出てくる書きかえなので、復習しておきましょう。

④問5(1)は、得点率が5%以下と非常に低くなりました。後ろのbut以下の内容に着目し、文脈に合う語を書く必要がありました。冬なので、hotは合いません。